

| 質問の種類 | | 質問 | 回答 | リンク |
|--------------|--|---|---|---|
| 質疑応答 | | | | 2023年7月5日作成 |
| スコアリング基準について | | | | |
| スコアリング基準 | | CDPの回答言語について日本語回答を予定しているが、SC説明について、海外企業からの要請もあり、その会社に対するSCの回答の英語回答することは可能か。 | 回答での使用言語は一つに統一ください。但し、顧客要請を受けている場合、サブライチェーンモジュールは質問書と別の言語で回答することができます。 | |
| スコアリング基準 | | スコアがDになった場合、Fとあまり差がない、というご意見をうかがったことがあります。データが少ないので、よくてもDレベルかと思っています。本当に差はないのですか？ | 開示に取り組むことにより、どの部分のデータが不足しているかが明らかになり、開示企業によって、課題が明確化されるというメリットがあります。課題が明確になっている企業か否かということや、投資家等のデータ利用者による評価に違いが生じる可能性があります。Fの場合は開示の意思がないことを意味し、Dは開示に取り組んでいるが十分な情報が開示されていないと判断されます。 | |
| スコアリング基準 | | C4.1a) において目標を設定した年や基準年、目標年等を記載する際、レポートガイドラインでは以下のように記載されています。「事業年度単位で目標を設定している場合は、事業年度末にあたる年を入力し、【目標対象範囲を説明し、除外事項を示してください】列で具体的に答えください。」これに従って、例えば事業年度が2030年4月1日～2031年3月31日の場合、目標年度を2030年度とする本調査回答では「2031」と記載することになりますが、他の公表情報と整合させ年度で「2030」と記載したいと考えております。記載を年度で統一し、【除外事項を示してください】の列に、年度で表記している旨を説明入れることで対応したい(2030年度であれば本調査回答でも「2030」と記載して、【除外事項を示してください】の欄で年度表記である旨の説明を入れる)のですが、問題ありませんでしょうか。またスコアに影響ありますでしょうか。 | 御社のケースですと、ご理解の通り、2031年と記載するのが正しい開示方法となります。目標対象範囲の除外については、CDPのガイダンスの趣旨としては全体的か否かといった点を想定しており、期間の除外については想定されていません。スコアリングへの影響ということですが、本質問では2030か2031かによって直接的な影響はありませんが、C4.2aなどは、採点基準において、2031は「2030ならOK」という取り引きがあります。2030年の進捗を目標年と言えらる2030と答え、そうでない(2030年度末)の場合は2031と答えて頂く必要があります。i) Figure of 100% provided in column '% share of low-carbon or renewable energy in target year' AND year provided in column 'Target year' is before 2031 - 1 point | |
| スコアリング基準 | | 昨年初めて回答しましたが、今年も同じ回答だと最終評価は下がるのでしょうか？ | スコアリング基準は毎年更新されているため、今年同じ回答であっても同じ評価となるとは限りません。最新のスコアリング基準をもとに評価されるため、右のご留意ください。詳しくは2023年スコアリングイントロダクションと各テーマごとのスコアリング基準をご確認ください。 | |
| スコアリング基準 | | 気候変動と水セキュリティの2つに回答要請が来ているが、気候変動だけ回答した場合に何か問題はありますか。気候変動のスコアは出るか。出る場合、水セキュリティはFと記載されるという認識でしょうか。 | 各テーマの質問毎にスコアリングされますので、気候変動のみ回答した場合、そのスコアが出されます。一方、水セキュリティはFとなります。 | |
| スコアリング基準 | | 気候変動はグループについて、水セキュリティについては単体のみについて、回答することは可能でしょうか？ | 各テーマ毎の質問書においてバウンダリーが統一されていることは開示の観点では重要ですが、それは長期的に目指していただくものとし、現時点でバウンダリーが異なっても、まずは開示できるところから開示していただくという構いません。(バウンダリーの違いはスコアには影響しませんが、単体のみで回答いただいた場合はAリストには選定されません。) | |
| スコアリング基準 | | 気候変動を自社での回答、水に対する回答を親会社回答とすることは可能でしょうか？ | そちらについては統一いただければ幸いです。その場合は親会社回答にされた水セキュリティ質問書について、貴社の回答ステータスがFになってしまう。 | |
| スコアリング基準 | | スコアリング基準で、セルの記入や表の記入が得点条件になっている場合、自由記述の内容はどの程度考慮されますか？回答がダンプや上置レベルで求められる記述の要件を満たしていなければ、失点となりますでしょうか。 | まず、文章入力欄には主に2つがあり、Please explainやDescriptionの項目の欄については採点対象となります。Commentの項目については、任意記述となり、採点対象外となります。文章入力欄の採点基準については、情報開示レベルなど、記述されているだけで得点となる場合と、マネジメントレベルなど、記述内容に一定の内容が含まれているか、基準を満たしている場合に得点となる場合があります。各質問によって採点基準は異なるため、最新のスコアリング基準の文書をご確認くださいをお勧めします。 | |
| スコアリング基準 | | 日本語で回答した場合は不利になりますか？(英語で回答した方がスコアがある可能性はありますか？) | より多くのステークホルダーに情報開示を行う観点から、英語での回答を推奨していますが、英語での回答が難しい場合には、日本語での回答も可能です。日本語、英語のどちらで回答してもスコアリングには影響ありません。 | |
| スコアリング基準 | | 先日アップされた「CDP気候変動質問書回答に向けて(詳細版)ver1.9」6ページのC8.2e補足説明について質問です。ここでは残差メニューに含まれる非化石証書は該当しないと思いますが、そのように判断された根拠を教えてください。グローバルの方のガイダンスを見ると、残差メニューの非化石証書が該当するように思いました。また、昨年の「CDP気候変動質問書回答に向けて(詳細版)」の資料では残差メニューの非化石証書が認められていたため、該当しなくなった根拠を教えてください。 | C8.2eのエネルギー属性証明によって裏付けられた系統からのデフォルト供給電力(例えば、エネルギーサプライヤーによる標準商品)に関するご質問と理解しました。こちらのデフォルトの意味には「規定年」という意味もあり、米連邦エネルギー庁など、これが標準に適用される場合は、他の選択可能な代替案のみに限ります。よって、選択できる日本ではこれが当てはまらないという見解によるものです。 | |
| スコアリング基準 | | C8.2a)について質問です。「購入または獲得した電力の消費」の「再生可能エネルギー源からのエネルギー」に、残差メニューの非化石証書は計上できますでしょうか？昨年は計上できましたが、C8.2eのところでは残差メニューの非化石証書が該当しなくなったので、C8.2aでの取り扱いがどのようになるか教えてください。 | ご懸念の通り、C8.2a)に関しても、残差メニューの非化石証書は再生可能エネルギー源からのエネルギーに計上不可となります。残差メニューでも低炭素/再生と認める場合というのは、需要によって、それ以外(再生メニューなど)を選ぶ選択がないというケースに限られるため、これは日本の状況に当てはまらないという見解によるものです。 | |
| スコアリング基準 | | A-ランク以上の評価を得るためには、CO2排出量の認定を得る必要がありますでしょうか？ | 認定というのは第三者検証のことを仰っているものと思います。A-以上を取得するために必須というわけではありませんが、検証に関する質問は非常に配点が高いため、検証を取得していない場合は他の質問で高いポイントを獲得している必要があるかと思われます。なお、Aを取得するためには検証は必須です。 | |
| スコアリング基準 | | Columnに比例して得点が入る場合、例えば8個の回答欄があり最大6ポイントだった場合、4個の欄を埋めれば最大3ポイントでしょうか。 | 8個の欄があって、記入した欄の個数に応じてスコアがつく場合はご認識のとおりです。8個すべてを回答していないとスコアがつかない場合もあります。(この場合、獲得可能なポイントは、6ポイントまたは0ポイント) | |
| スコアリング基準 | | 説明「貴社回答がどのような形でCDPIに扱われるべきかを確認してください」について、「公開」と「非公開」の違いを教えてください。 | CDP FAQの右記の部分をご確認ください。 | https://help.cdp.net/ja-ip/knowledgebase/article/KA-01034 |
| スコアリング基準 | | W10.8の「使用したプラスチックパッケージ」の定義について教えてください。「使用した」とありますが、適量に購入して繰り返し使用しているプラスチックの使い捨てなどは使用量の把握が困難です。この場合は該当年度に購入したプラスチックパッケージと報告に記録させていただき、回答としたのですが、これですとスコア外になりますでしょうか？ | 説明W10.8での「使用したプラスチック包装」とは、報告年度に実際に使用されたプラスチック包装を指します。1)目的の「報告年に販売/使用したプラスチックパッケージの総重量」の数値は、正確な値ではなく、推定値でのご回答でも構いません。今サイクルにおいてはスコアリングには影響しません(本質問は採点対象外のため)。 | |
| スコアリング基準 | | 自社固有の記述に関し、ケーススタディは STAR アプローチでとのお話ですが、STAR に基づかない形式だと点数が入らないなどはありますでしょうか。また、ケーススタディ以外に STAR に基づく必要があるということでもよろしいでしょうか。 | 採点基準の中に、例えば、以下のように、「ケーススタディが含まれている」といったものがあつた場合、STARアプローチで記載されていない場合は、基準を満たしていないとみなされる可能性があります。採点基準の例: iii) 「自社固有の説明」欄で説明した機会に対処するために譲じた行動の説明を示しているケーススタディを、行動の結果と実施の時間スケールも示して、【機会を実現するための戦略と費用計算の説明】に記載されている - 1ポイント | |
| スコアリング基準 | | Fスコアとスコアリング対象外の位置の違いをご教授ください。 | 7/26の回答提出期限、また9月末のORSシステム利用可能期限までにご提出されなかった場合は、Fとなります。7/26の回答提出期限に間に合わなかったものの、9月のORSシステムの利用可能期限までの期間にご提出いただいた場合には、スコアリング対象外(not scored)となります。 | |

| | | | |
|----------|--|--|---|
| スコアリング基準 | 回答に際して報告年を指定できるかと思いますが、直近のデータ(2022年度)の集計が終わっていない場合は、過去のデータ(例えば2021年度)で回答した場合も、スコアリングに影響はないのでしょうか？ | 各テーマの質問書において、報告期間を記入する質問があります。例えば、気候変動の場合、以下のCO ₂ となり。最新年度のデータを開示していただくことが望ましいですが、開示するデータが、こちらの期間と異なる場合は、過去のデータを開示するでもスコアリング上は問題ありません。 (CO ₂) 報告期間の開始日および終了日を入力し、加えて過去の報告期間における排出量データを提示するかどうかについてもお答えください。 | |
| スコアリング基準 | ORS上で回答したものをWORDでダウンロードすると、回答が消えている項目がある。これはスコアポイントに影響が出るのでしょうか？ | ORS上に回答したものをエクスポートした文書に反映されない場合には、システム上、何らかのミスが起きている場合がありますので、CDPヘルプセンターまでご連絡ください。 | |
| スコアリング基準 | 気候変動の質問書の中に生物多様性についても質問がありました。生物多様性の回答内容も、気候変動のスコアに影響しますでしょうか？ | 生物多様性関連質問は今年も採点対象外となっています。詳しくは、気候変動質問書のスコアリング基準をご確認ください。 | |
| スコアリング基準 | 評価方法は、加点方式ですか？又は、減点方式ですか？字数制限いっぱいまで回答したほうが良いのでしょうか？ | 評価方法については、スコアリング基準に則って採点されます。スコアリング基準に、各質問の回答で求められる採点基準が記載されており、それを満たした内容であるか否かによって評価されます。なお、字数制限一杯まで回答すると高い評価となるような採点基準は存在しません。 | |
| スコアリング基準 | STAR アプローチを推奨する、ケーススタディの説明はどの説明が該当するのか、教えていただければ幸いです。 | C2.3aとC2.4aが該当します。 | |
| スコアリング基準 | 自由記述で説明が必要な箇所は、定性的な説明よりも定量的な説明のほうが点数が良くなるのでしょうか？(C6.5など) | 文章入力欄に関しては、質問によって記載されるべき内容が異なります。どのような内容が記載されているとのレベルで評価されるかについては、スコアリング基準をご確認ください。C6.5に関しては、認識レベルで以下のような採点基準がありますが、定性的か定量的かで採点に差はありません。 情報開示での行の採点(A1)、または「情報開示での行の採点(A2)、且つ、「説明してください」欄の説明が特定のスコアを達成する文脈に関連し、且つ、「評価の状況」欄で回答した情報と矛盾しない - 0.5ポイント 報告ガイダンスにおいて、「説明してください」欄に記載すべきとしている内容: 「評価状況」列で「関連性がない、理由の説明」に特定したすべてのスコア。3カテゴリーに関して、排出量関連性がないという結論とどのように運したかを具体的に答え、定性的または定量的な推論を含めます。 | |
| スコアリング基準 | 気候変動質問書のコメント記入欄はスコア評価対象でしょうか？ | コメント欄への記入は任意となっており、採点対象ではありません。なお、文章記入欄のうち、Please explainやDescriptionの欄については、採点対象となりますのでご注意ください。 | |
| スコアリング基準 | 文章で回答する所ですが、どのような採点基準と、なっていますか？文字数によるものでしょうか？採点に記載した方がよいのでしょうか？ など。 | 文章入力欄に記載可能な文字数については質問によっては記載があります。各テーマのスコアリング基準に各質問の採点基準が掲載されています。文章回答については質問により採点の有無、配点等が異なります。 | |
| スコアリング基準 | C11.2aの情報開示レベルに関する質問です。例えば、14種類の質問がある中で7つ回答した場合8点満点中4点が付与されますか？14のコメントは採点対象でしょうか？ | 14の「コメント」は採点対象ではないため、7つ回答した場合には、13/8*7=4.3点となります。 | |
| スコアリング基準 | スコアリングメソッドローで「1行が採点されます」とありますが、いくつかの事例を記載した方がよいのでしょうか？それとも回答の質を高めて1行のみ記載するのが好ましいのでしょうか？ | スコアリング基準に関わらず、必要な情報は公開するようにお願いします。スコアリング基準において、「1行が採点されます」と明示しているものについては、1行のみ記述でも問題ありません。 | |
| スコアリング基準 | 気候変動質問書C4.1aで、目標の対象となる報告年の総排出量とスコア1~3の合計が四捨五入の影響で不一致が生じます。採点基準で「一致」が求められていますが、どこまで厳しく見られるのでしょうか？ | 数値の整合性が求められる場合は、5%の誤差までが許容されています。スコアリング基準の冒頭に下記記載してあります。「In cross-check criteria within or between questions, unless another limit is explicitly stated, a variance limit of 5% will be used when comparing figures.」 | https://cdn.cdp.net/cdp-production/comfy/cms/files/files/000/008/164/original/Climate_Change_2023_JP_Supplementary_v2.pdf |
| スコアリング基準 | 説明C2.3aの財務影響/リスクについて、社として2030年の収益・費用コストを開示していないか、想定されるリスクを、前期実績で試算した場合などはリスクの開示として有効とみなされますか。また、将来に想定されるリスクを例えば営業利益率などで開示することは有効ですか？ | C2.3aの財務影響/リスクの影響や対応費用については、内容と計算根拠が求められます。スコアリング基準上は何を計算根拠とするかは問われていません。但し、セクターによっては試算する際に考慮すべき事項が、右記の報告ガイダンスの中で説明されていますので、そちらをご確認することをお勧めいたします。 | https://guidance.cdp.net/ja/tags?cid=46&ctype=theme&settags=0&idtype=ThemeID&inccid=1&microsite=0&otype=Guidance&page=1&isprompt=TG-124%2CTG-127%2CTG-125 |
| スコアリング基準 | 説明C7.7aにおいて「子会社の固有ID」が空白でもOKなのかどうかについてお聞きしたい | C7.7aの「子会社の固有ID」について、スコアリング基準によれば、本質問については以下の通り、情報開示レベルのみ採点されます。表示されたセルの数の比例して、記入したセルごとにポイントが付与されるため、空欄があれば、その分は比例計算の中含まれません。 (ご参考)情報開示スコアリング基準 表示されたセルの数の比例して、記入したセルごとに次のようにポイントが付与されます: [スコア2、ロケーション基準排出量(CO2換算トン)]欄、または[スコア2、マーケット基準排出量(CO2換算トン)]欄のいずれかを記入この質問では最大3ポイントを獲得可能です | |
| スコアリング基準 | C12.4のマネジメント点を見ると、有価証券報告書がポイントの対象となっています。統合報告書の記載は不要でしょうか？それとも記載しておく方が適切でしょうか？ | 質問書上の「メインストリームレポート」とは、法令で定められ、監査されている財務経歴を提示することを目指すCDPのユーザー登録が必要です。要請メールの中にはJoin the organizationフォームへのURLが記載されているかと思いますが、そちらから登録が可能です。そちらのURLが届いていない、もしくは紛失してしまった場合、CDPまでご連絡いただければ幸いです。 | |
| 回答提出 | | | |
| 回答提出 | 公表されたスコアについては、各所に掲載されるとのことですが、回答した内容については「非公開」とした場合どこにも開示されないのでしょうか？また、回答の情報についてはホームページ等で開示している必要がありますでしょうか？ | 非公開の回答の扱いについては以下の通りとなっております。 - 回答を要請したすべてのステークホルダーとの共有 - CDPウェブサイトでは非公開 - 回答のスコアリングを目的としたスコアリング/パートナーとの共有 - 匿名性が確保された形での、CDPが作成するレポートや他の要請機関による公開 詳しくは、以下の右記のFAQサイトなどでご確認ください。 | https://help.cdp.net/ja-ip/knowledgebase/article/KA-01034 |
| 回答提出 | 弊社から顧客を調達する顧客からCDPを通したサプライチェーンの質問票が届いています。まだ質問へのアクセスの仕方が分からないのですが、質問内容は各社共通なんでしょうか。各社バラバラだと回答するのが大変かと思ひます。 | 複数の顧客から要請を受けている場合でも、質問書の内容は共通のもので、質問票へのアクセス方法はすべてCDPのユーザー登録が必要です。要請メールの中にJoin the organizationフォームへのURLが記載されているかと思いますが、そちらから登録が可能です。そちらのURLが届いていない、もしくは紛失してしまった場合、CDPまでご連絡いただければ幸いです。 | |
| 回答提出 | 回答開示するか、しないかは、どこで選択すればいいのでしょうか。 | 開示レポートの資料: オンライン回答システム(ORS) (2023年版)の36ページに方法が記載されていますので、ご確認くださいませようよろしくお願いいたします。 | https://cdn.cdp.net/cdp-production/comfy/cms/files/files/000/008/092/original/ORS2023_guide_JP.pdf |
| 回答提出 | 回答開始後に表示される回答データの提出先確認画面において、「提出しない」を選択した場合、どのような影響があるのか？ | 回答を提出しない場合、スコアはFとなります。 | |
| 回答提出 | また、「非公開」とした場合の、公開範囲を教えてください。 | 非公開の回答の扱いについては以下の通りとなっております。 - 回答を要請したすべてのステークホルダーとの共有 - CDPウェブサイトでは非公開 - 回答のスコアリングを目的としたスコアリング/パートナーとの共有 - 匿名性が確保された形での、CDPが作成するレポートや他の要請機関による公開 詳しくは、右記のFAQサイトなどでご確認ください。 | https://cdn.cdp.net/cdp-production/comfy/cms/files/files/000/008/042/original/2023FAQ.pdf |

| | | | |
|------|---|--|---|
| 回答提出 | CDPへの回答内容は、既に開示しているもののみ回答するのでしょうか。まだ開示していない情報について、CDPで初めて開示する内容があっても良いのでしょうか。 | 皆様のご対応にお任せします。CDPへの回答に初めて開示する内容が含まれていても問題ございません。投資家の方に閲覧してもらうことを希望する場合には、CDPへの回答にその内容を含めて、回答を非開示とする企業もございます。 | |
| 回答提出 | 必ず答えなくてはならない質問を教えてください。 | CDPから必ず答える必要がある質問については指定していません。御社がご回答できるものをご回答できるタイミングで開示されるのが望ましいと考えます。そのため、全く開示せずFとなるよりも、回答できるものから回答されることをお勧めいたします。顧客企業より回答要請がある場合には、顧客企業により、特定の質問についての回答が求められる場合があります。 | |
| 回答提出 | 日本語で自由記述回答を記入するときに使わないほうがよい文字や記号などがありましたら教えてください。また、文字化けなど、意図した回答と違う表示になることはないでしょうか。 | できれば①、②などの機種依存文字は避けていただくと思いますが、大きな文字化けはこれまでに確認されておりません。(上記のような機種依存文字でも問題なく表示されているケースも多くあります。) | |
| 回答提出 | 今回要請してきた企業以外の企業名が、リクエスト企業として出てくるが、要請企業のみ開示は可能か？ | 貴社ダッシュボードに表示されている要請企業が、貴社へ回答を要請している企業の一覧です。回答を提出されると、その企業すべてに対して回答を共有することになり、一部の企業を選択して提出いただくことはできません。取引のない企業が要請元として表示されている場合は、ヘルプセンターまでご連絡ください。 | |
| 回答提出 | 一つの質問書に複数の言語の併記は不可とのことですが、気候変動は英語、水とフォレストは日本語等、質問書ごとに異なる言語で回答することは問題ないでしょうか。 | 仰る通り、一つの質問書の回答に複数の言語の併記は不可ですが、質問書毎に異なる言語の使用は可能です(スコアに影響はありません)。 | |
| 回答提出 | 今回のように要請企業からのリクエストに対応するのに、自社自体で直接CDPに参加するために登録したものを要請企業へ開示するのは、作業量はかわるのか？ | 基本的には大きな作業量の差はないですが、強い1点お伝えするのであれば、後者の自社で登録し、スコアリング自体は登録済みのフォーマットを記入頂く必要がございますのでその分作業量が増えると思います。 | |
| 回答提出 | 質問書の内容はエクセルやPDFなどでダウンロード可能でしょうか。 | はい、可能です。2つ方法があり、①自社のダッシュボードからORSを開いた際に、ORSのエクスポートボタンでダウンロード可能。②一般的なCDPウェブサイトの情報開示>企業向け質問書から質問書をダウンロードする事が可能です。 | |
| 回答提出 | 日本語で回答した場合、海外のステークホルダーは各自で翻訳する可能性があるが、「CDP側が翻訳しない」という理解でよろしいでしょうか？ | ご認識のとおりです。 | |
| 回答提出 | 顧客から回答要請を受けました。年間売上2億5000万ユーロ以上の企業が簡易版での回答した場合、Aリストに選定されることは無いだけで、スコアリング自体は行われますでしょうか？もしくは完全版での回答が必要になりますでしょうか？ | 顧客要請のみの企業で、年間売上2億5000万ユーロ/米ドル以下の場合、簡易質問書向けのスコアリング基準に基づいてスコアリングされます。 | |
| 回答提出 | 気候変動と水セキュリティの2つに回答要請を受けていますが、企業活動として水セキュリティの質問に、ほとんど該当しなくても、回答しなければならないのでしょうか。 | 水セキュリティ質問書の回答要請が、匿名機関からの場合で、それが御社には該当しないということであれば、CDPヘルプセンターまでお問い合わせください。該当しない理由などをご説明頂くことで要請リストより外される可能性がございます。ただし、既に簡易版の対象となっているということは、御社のセクターが承認課題において重要であると認識されているため、登録されているセクター情報に間違いがないかを確認いただき、間違いのないようでしたらご回答いただければ幸いです。 | |
| 回答提出 | スコープ1、2、3で全世界となっていますが、海外の特にスコープ3でデータが期限までに集まらない可能性があります。その際、今回は海外事業所は外して良いか。 | 回答の優先順位としては、まずスコープ1と2について全世界のデータが集まっているようであれば、その全てをまず回答されることをお勧めいたします。その上で、スコープ3については、海外が難しいということでも、国内だけでも回答が可能なら国内のみ回答することをお勧めします。なるべく広い範囲で回答できるものから回答することをお勧めします。 | |
| 回答提出 | 質問書の中で、2年以内に作成するかどうかという質問が数か所あるかと思いますが、現時点では作成予定であり回答したが、何かしらの理由により2年以内に作成できなかった場合、何かしらのペナルティは発生しますでしょうか。 | CDPとしてはペナルティを課すことはしていません。 | |
| 回答提出 | 日本語で回答したいのですが、つい最近までシステムも日本語で表記されていたのですが、現在、英語で質問が表記されます。その際、Google翻訳にするとシステムダウンしてしまいます。質問を日本語に表記する方法はあるのでしょうか。 | 回答を始める前の設定として「日本語」を選択されていますでしょうか。設定方法については以下のリンクより確認頂けます。こちらでご紹介する方法で設定を行っても英語が表記されてしまう場合には、CDPヘルプセンターまでお問い合わせください。 | 回答の提出 |
| 回答提出 | 弊社は水セキュリティ質問書は初回答企業となりますので、簡易版での回答を行いたいと考えております。ORS画面では簡易版の回答が可能と読み取れる文章が記載されておりますが、回答ダッシュボードでは簡易版を選択する画面が表示されません。簡易版での回答画面に切り替える手順をご教示いただけますでしょうか。 | 簡易版での回答画面に進む方法に関しては右記のリンクの通りですが、この通り画面が表示されないようであれば、CDPヘルプセンターまでお問い合わせください。 | https://help.cdp.net/en/ia-ip/knowledgebase/article/KA-01039 |
| 回答提出 | 顧客からCDPへの回答を要請されました。親会社がすでに自社のデータを含めて質問書に回答している場合、どのように対応すればよいでしょうか。 | 親会社の担当までご確認の上、子会社顧客の要請が親会社に名寄せされていない場合には、親会社の担当者(メインユーザー)より、CDPヘルプセンターまでお問い合わせください。 | |
| 回答提出 | 水セキュリティがメインユーザー以外、入れません。気候変動ページはメインユーザー以外も変更可能ですが、個別に設定する箇所があるのでしょうか。 | 各ユーザー様が各質問書に正しく権限付与されていないために表示されないことが考えられます。正しく表示されない方のメールアドレスを列挙の上、サポートセンターよりご連絡いただければ幸いです。 | |
| 回答提出 | ガイドラインを確認しても不明点がある質問に関して、7/12までにお問い合わせをすれば回答いただける認識でよいのでしょうか？(ご回答いただける場合は出来る限り早くお問い合わせいたします) | 7月12日までにいただいたご質問はテクニカルな内容についても内部で確認してお返事するように努めますが、順に対応しており、すぐにはお返事差し上げられない場合もございますのでご了承ください。 | |
| 回答提出 | 今回2回目の回答となりますが、スコアを非開示とすることができるとの認識でよろしいでしょうか。 | スコアの非開示の選択肢は、最初の一年間に限ります。二年目は降は公開となります。 | |
| 回答提出 | 匿名機関からの要請はどのような基準となっているのでしょうか？単純にプライム上場とかで判断されているのでしょうか。その基準はどこに開示されているのでしょうか。 | 匿名機関からの要請基準につきましては、以下のリンクをご参照ください。 https://www.cdp.net/en/companies-disclosure/how-to-disclose-as-a-company/investor-requested-companies | https://www.cdp.net/en/companies-disclosure/how-to-disclose-as-a-company/investor-requested-companies |
| 回答提出 | 回答要請されているかの確認をしたいのですが、どこで確認できますでしょうか。 | 匿名機関からの要請企業リストは以下のリンクをご参照ください。 https://www.cdp.net/en/companies-disclosure/how-to-disclose-as-a-company/investor-requested-companies 御社への要請元を確認されたい場合には、CDPアカウントの登録後、ログインされますと、ダッシュボードにアクセスできます。そちらに掲載されている御社への要請元リストをご確認ください。 | https://www.cdp.net/en/companies-disclosure/how-to-disclose-as-a-company/investor-requested-companies |
| 回答提出 | 修正のあった説明を確認した上で、昨年と同様の内容でも良いと判断した場合、昨年と同じ回答だから減点ということはあるのか。 | 昨年と同じ回答であることを理由に減点されることはありません。採点は、各テーマの最新のスコアリング基準上の質問毎の採点基準によって行われます。 | |
| 回答提出 | 昨年も回答し自身がメインユーザーとなっていますが、本年度最初のCDPから依頼メールが違うアカウントに届きました。次年度は本年度のメインユーザーに依頼メールを送付いただけますか？ | 回答要請メールについては、メインユーザーではなく、Senior stakeholder宛に送付しております。毎年2月頃に、御社のSenior stakeholderのコンタクトの更新に関するご案内を送りしておりますので、その際に、正しいコンタクト先の登録をお願いいたします。(なお、Senior stakeholderの情報は、メインユーザーダッシュボードのOrganization detailsの方から更新が可能です) | |
| 回答提出 | 顧客企業からCDPへの質問書へ回答を求められたのが親会社ではなく子会社の場合、親会社が回答をするのでしょうか？会社説明のところ親会社と子会社の関係を記載し、子会社が記載を進めているが、それで良いでしょうか？ | 親会社に対して回答要請がなされていない、または回答しないということであれば、そのような対応で問題ありません。 | |

| | | | | |
|--------|---|--|---|--|
| 回答提出 | 「回答要請をしてきた特定の取引先企業のみへ回答を共有したい」という意図で「非公開」提出したとしても、その後不定多数の企業が回答要請をしてきた場合、それら全ての企業へ回答内容が共有されてしまいますか？ その場合、「非公開」とは実質「公開」であるように思われるが、どう考えたらよいですか？ こちら側(回答企業側)が、「非公開」を選択する以上に、公開先を限定する方法はありますか？ | 非公開の回答の扱いについては以下の通りとなっております。 ・回答を要請したすべてのステークホルダーとの共有 ・CDPウェブサイトでは非公開 ・回答のスコアリングを目的としたスコアリング・パートナーとの共有 ・匿名性が確保された形で、CDPが作成するレポートや他の要請機関による公開 以上の非公開の設定が公開の設定のいずれかとなります。 なお、CDPの回答期限後に回答要請を受けるということはありません。どの企業からの回答要請を受けているかを確認してから回答提出してください。 | | |
| 回答提出 | 当社は、今回、著名機関からの要請を受けたプライム市場上場企業ですが、同市場に上場の親会社があります。 CDPは基本的に連続ベースでの回答とのことですが、当社は要請に従い、提出が必要となりますでしょうか(念のための確認)? | 親会社が回答する場合には、子会社のデータは親会社の回答に含めることになっており、子会社による回答の必要はありません。その場合は親会社の方から、子会社である御社の情報を回答のバウンダリーに含める予定である旨をCDPに連絡いただく必要があります。 | | |
| 回答提出 | 過去年度に気候変動質問書を既に回答している企業において、水セキュリティ質問書を回答する場合、水セキュリティのみ簡易版での回答やスコアの非開示を希望することは可能でしょうか。 | どちらから回答要請を受けているかによります。著名機関から回答要請を受けている場合は、完全版のみしか回答いただけません。初回答の場合はスコア非公開とすることが可能です。メインユーザー様よりヘルプセンターへご相談ください。 | | |
| 回答提出 | 回答書のアクションを行う前に業種などの質問項目がありますが、前回回答時の記録がありません。前回の回答内容を確認する方法があればご教授をお願いします。 | ダッシュボード【スコアと回答】のスコア欄にスコアレポートが掲載されておりますので、そこからActivity Groupや質問書セクターをご確認いただけます | | |
| 回答提出 | CDPサポーター(65万円)のコースをお支払いした場合、10社同業他社比較の相手先は指定できるのでしょうか？またそのレポートはどのようなものなのでしょうか？ | ベンチマークレポートに関するご質問と理解致しました。CDPより回答を開示している企業のリストをお送りし、その中から10社を御社の方でお選びいただけます。 | | |
| 回答提出 | 回答を公開と選択した場合は、いつから公開されるのですか？ | 公開を希望した場合、例年は10月中旬頃に CDP ウェブサイトの回答を閲覧・検索のページで公開されます。 | | |
| 回答事務費用 | | | | |
| 回答事務費用 | 弊社(次回以降)の回答事務費用を確認したい | 本日のウェビナー資料「回答提出と回答事務費用」の内容をご確認ください。来年の費用については現時点では決定されておりません。 | | |
| 回答事務費用 | 請求書発行、あるいはクレジットカード払いを完了しないと、回答提出ボタンが表示されない仕様とのことですが、回答期限は7月23日ではなかったですか？ | 回答事務費用を支払い済みもしくは請求書発行済みでない場合、回答提出ボタンを提出することができません。回答提出期限は7月26日です。 | | |
| 回答事務費用 | 初回答企業は回答事務費用が無料ですよね？念のため確認したく存じます。 | 回答要請を受けた企業が、初回答する場合(北米、欧州、英国、韓国、東南アジア、台湾(中国)、香港(中国)、オーストラリア、ニュージーランド以外に本社を置く初回答者である場合)、費用免除となります。自主回答企業の方が、初回答する場合は、通常通り費用が発生しますので予めご了承ください。 | | |
| 回答事務費用 | 過去回答費が発生する前に回答した実績があるようですが、自社が回答費が発生するかどうかで確認ができますでしょうか。 | 一番容易な方法は、メインユーザー様のダッシュボードにお支払い欄がある場合は回答事務費用が発生するとご理解いただけます幸いです。 | | |
| 回答事務費用 | 今年から先進国では日本以外は殆どFoundation level fee以上になっていますが、来年から日本でもそのようなことになるのでしょうか。 | 来年の費用については現時点では決定されておりません。 日本でも、標準的な費用は Foundation level fee (295,000 円)となっております。中小企業や予算が限られている企業、一方でより多くのベネフィットを希望する企業には、別の料金オプションが用意されています。希望する企業には、別の料金オプションが用意されています。 | | |
| 回答事務費用 | 費用の支払いはいどのようなプロセスでしょうか。請求書は発行されますか？ | 回答事務費用のお支払い方法については右記リンクをご参照ください。請求書払い、あるいはクレジットカード払いをご選択可能です。 | https://cdn.cdp.net/cdp-production/cms/guidance_docs/pdfs/000/000/441/original/How-to-process-the-administrative-fee.pdf?1625762662 | |
| 回答事務費用 | 気候変動と水セキュリティの2つに回答要請が来ているが、気候変動だけ回答した場合は、気候変動評価の費用だけOKですか？ | プログラム毎ではなく、年間での価格になりますので、1つでも2つ回答頂いても価格は変動しません。積極的な情報開示をお待ちしております。 | | |
| 回答事務費用 | 支払いについて、請求書の支払い日が7月26日より後でも、請求書を発行していれば回答ボタンは押せるのでしょうか。 | ご理解の通りです。 | | |
| 回答事務費用 | 回答事務費用の支払い期限はいつでしょうか？ | 請求書発行から90日以内、あるいは9月30日までのいずれか早い日までです。請求書発行、あるいはクレジットカード払いを完了しないと、回答提出ボタンが表示されない仕様となっております。 | | |
| 回答事務費用 | プライム企業であれば、回答要請を受けていて事務費用は無料であるという認識で間違いないでしょうか？ | プライム企業の有無にかかわらず、標準的な費用は Foundation level fee(295,000 円)となっております。中小企業や予算が限られている企業、一方でより多くのベネフィットを希望する企業には、別の料金オプションが用意されています。本社が日本にあり、初回答の場合は無料となります。詳しくは、本日のウェビナー資料「回答提出と回答事務費用」の内容をご確認ください。 | | |
| 回答事務費用 | サプライチェーンプログラムにサプライヤとして参加している場合、費用は掛かりますか？ | サプライヤーとしてのみの回答であれば、今年は無料となっております。 | | |
| 回答事務費用 | 初回答企業の場合無償とのことですが、FLF、ELFどちらの内容が適用されますでしょうか？ | 標準的な費用は FLF(Foundation level fee(295,000 円))となっております。 | | |
| 回答事務費用 | Enhanced level feeを支払うベネフィットにあるCDP認定パートナーとの1時間の無料コンサルについて、どのように申し込めばいいですか。また、そのコンサル内容はどのようなものですか。認定パートナーはHPIにあるパートナーですか？ | CDP回答システムより、Enhanced Admin Fee のお支払い処理が完了していることがお申し込みの条件となります。 申し込み方法「Enhanced Admin Fee の無料相談希望」の旨を明記し、CDP ヘルプセンターまで下記の内容とともにメールでお送りください。 社名、部門名、担当者指名・役職、メールアドレス 相談したい内容(例:回答後のスコアレポート解説、脱炭素に向けた活動)* 希望日時:複数候補をあげてください 使用ツール:Teams、Zoom、Webex、その他 *パートナーによって弊社の希望に添えない場合がございます。 ご提供する内容は、1時間限定のオンライン相談です。 CDPの認定パートナー*の中でこの相談プログラムに賛同・ご協力いただけるパートナーに、CDPより依頼します。 1時間を超える内容、具体的なアクションへの支援など、以後のコンサルティングの依頼は、別途パートナーよりお見積もりを提示する場合がございます。 原則として日本語を想定しています。 ただし、タイミングによってはご希望に添えない場合があることをご承知おきください。 *CDP認定パートナー https://japan.cdp.net/partners | | |
| 回答事務費用 | 初回答の費用がかからないという企業は、回答要請を受けた企業のみなのですね。当社のように、CDPからレターを直接受けて回答する企業は初回でも費用がかかるのですか？ | 回答要請を受けた=CDPからレターを受けた/顧客からの要請があった、ということになります。CDPからレターを受けたということ、著名金融機関からの回答要請があったということですが、CDPに初めて回答される場合は今年は無料でご回答いただけます。 | | |
| 回答事務費用 | 権限者のしらない人が、登録されている場合に、どのようにして削除すればよいのか | ユーザーの削除については、お手数ですがCDPまでヘルプセンター間でご連絡ください。 | | |
| 回答事務費用 | お世話になります。他社回答無料閲覧回数とはどのようなことを指しますでしょうか？具体例を頂けるとありがたいです。 | Q&Aセッション冒頭にて、ご説明いたしました通り、CDPウェブサイトの回答検索・閲覧機能を利用して、公開されている他社の回答を閲覧することができます。回答閲覧回数は、通常、1ユーザーアカウントにつき20回が付与されています | | |

| | | | |
|--------|---|---|---|
| 回答事務費用 | 他社の回答閲覧が20社とのことですが、昨年数社参考に見ていただきました。本年はクリアされ20社閲覧できるのでしょうか？ | 他社回答閲覧回数のカウントは、全アカウントに対し毎年10月頃にロンドン本部で一斉に閲覧回数リセットを実施し、閲覧しなかった未閲覧回数については持ち越したくない仕組みとなっております。回答事務費用についてEnhanced level feeを選択していた場合、他社回答閲覧回数を100まで引き上げられます。もしくは一定数のデータマールをしまつて、ご希望の場合は、担当data.japan@cdp.netまでお知らせください。 | |
| 回答事務費用 | 無料で他社の回答を閲覧できるのは各アカウント20回までとのことですが、それを越えた場合の費用発生はいくらになりますか。また、越えた場合は後から請求書が来るのでしょうか？ | 他社回答閲覧数が20回に達した時点で、回答内容がクリックできない仕組みとなっております。回答事務費用についてEnhanced level feeを選択していた場合、他社回答閲覧回数を100まで引き上げられます。もしくは一定数のデータマールをしまつて、ご希望の場合は、担当data.japan@cdp.netまでお知らせください。 | |
| 回答事務費用 | 1アカウント20回とは、メインユーザー以外のID付与されている人もそれぞれ20回閲覧可能なのでしょうか？ | ご理解の通りです。メインユーザー以外の共同編集者(Contributor)としてのアカウントがある方に関しても、メインユーザーとは別に20回閲覧可能です。 | |
| 回答事務費用 | 1アカウント20回ですが、アカウント取得者が5人いれば100回まで可能でしょうか？ | ご理解の通りです。 | |
| 回答事務費用 | 他者回答閲覧数の残りはどこかで確認できますか？ | 他社閲覧可能数の残数について、ユーザーによる確認ができません。確認をご希望の場合は、CDPヘルプセンターまで、残数を確認したいメールアドレスを記載の上、お問い合わせください。 | |
| 回答事務費用 | 回答事務費用が一番高いものの場合、他社回答検索を100回まで見られると思いますが、メインユーザーのみでしょうか？ | どのアカウントに付与するかを後日CDPより確認させていただきます。メインユーザーに限らず、貴社指定のユーザー様へ付与可能です。 | |
| 回答事務費用 | 他社回答は閲覧のみで、PDF等でのダウンロードは不可でしょうか？ | 他社回答はダウンロード機能はなく、閲覧のみとなっております。 | |
| 回答事務費用 | 回答事務手数料を支払っていない企業の人でも、閲覧のためのアカウントを取得できますか？ | 開示のための回答事務費用のお支払いをすることなく、データのみを購入された場合には、その購入方法もご案内しております。右記のリンクをご確認ください。 | https://www.cdp.net/en/data/corporate-data#02d4482d332e1aef3437d61c9bc624 |
| 回答事務費用 | 回答事務費用ですが、昨年は支払いしていませんが、本年からでしょうか？ | 匿名機関要請の場合、初回回答企業として昨年は回答事務費用が無料であった場合には、本年からは支払いの対象となります。 | |
| 回答事務費用 | 顧客からの回答要請を受けての対応ですが、事務手数料が発生するのでしょうか？ | 回答要請元が貴社取引先のみでしたら、回答事務費用のお支払いは必要ございません。 | |
| その他 | | | |
| その他 | Water Security 2023 W1.4 について、製品にはなくとも、製造段階で使用する物質(例えば、製品を洗浄の際に使用)も報告する必要があり、この理解でよろしいでしょうか？ | ガイダンスによると、「この質問は、企業の製品ポートフォリオ全体を対象としており、規制物質または高懸念物質(SVHC)を含む可能性のある製品に限定されません。」とあることから、製造段階で使用する物質も含まれます。 | |
| その他 | (W1.4) 規制当局により有害と分類される物質を含んだ貴社製品はありますか。「EUIリストに掲げられている化学物質」について47個ほどございますが、1つでも物質の使用の有無が確認できない場合は「不明」を選択することで問題ないでしょうか。回答スタンスの粒度についての質問となります。 | この設問は、リストの中で危険物質に分類されたものが貴社製品にあるかどうかを問うていて、全部把握できているかどうかは焦点ではありません。そのため、危険物質が分類されたものの使用がある場合は、わかるものを開示してください。 | |
| その他 | CDP質問内容を知りたいです。 | 企業向け質問書の内容は以下のCDPジャパンウェブページよりご確認頂けます。一部更新等が入る場合があります。最新版につきましては以下の英語のサイト上の質問書をご確認ください。 https://www.cdp.net/en/guidance/guidance-for-companies | https://www.cdp.net/en/guidance/guidance-for-companies |
| その他 | 「C8 エネルギー」で、電力は消費電力のまま、或いは一次エネルギー換算する、のどちらでしょうか？ | 特に何も指定がない場合は消費電力のままとなります。 | |
| その他 | スコープ2の全世界総排出量の内訳で、施設別とした場合、非常に小さい数値も含めて回答すべきでしょうか、ある程度小さい場合は無視しても問題ないでしょうか？ | C7.6bに関するご質問と理解しました。こちらの採点基準に以下がございますので、C.6.3の数値との誤差が5%以内であれば問題ないかと思えます。 認識採点基準 [スコープ2、ロケーション基準(CO2換算トン)]欄に記入された数値の合計と、質問C.6.3の[報告年]の[スコープ2、ロケーション基準]欄に記入された数値との差異が5%以内である、または [スコープ2、マーケット基準(CO2換算トン)]欄に記入された数値の合計と、質問C.6.3の[報告年]の[スコープ2、マーケット基準]欄に記入された数値との差異が5%以内である - 1ポイント | |
| その他 | これまで、国内・海外子会社のCO2排出量も当社のグローバル排出量も含め、内訳においても「施設別/母体の会社の排出量を公開してまいりました。本年度から、別質問で子会社ごとの排出量を記載することになっておりますが、総排出量の内訳での記載と子会社ごとの記載との2種類の質問に回答する必要はあるのでしょうか？ | C7.7aの子会社の内訳に関する質問に関しても、スコアリング基準には、以下のような採点基準がございますので、子会社別にも回答頂くことをお勧めいたします。 情報開示スコアリング基準 表示されたセルの数に比例して、記入したセルごとに次のようにポイントが付与されます。[スコープ2、ロケーション基準(CO2換算トン)]欄、または[スコープ2、マーケット基準(CO2換算トン)]欄のいずれかを記入 この質問では最大3ポイントを獲得可能です | |
| その他 | 水関連の設備投資費CAPEX(+/-%)の算定式をご教示ください。 | 御社の設備投資費のうち、水関連、例えば、雨水排水路の改修、汚染防止装置、パイプライン、あるいは水使用量の少ない新製品を製造するための新しい機械などが占める割合となります。 | |
| その他 | 水セキュリティの「流域」につきましては、「取水流域」と「排水流域」があるかと思えます。関西の場合、ほとんどのエリアが取水流域は琵琶湖→淀川になるのですが、排水流域は近海であったり、近場の河川になります。どちらの「流域」で回答すればよろしいでしょうか？ | 「取水流域」と「排水流域」については、質問によってもどちらかに限定されている場合もありますが、基本的には両方を指しています。例えば、W2.2bのベラルディなどの質問については、両方を想定しています。 | |
| その他 | 気候変動A15要件についての質問です。 「ネットゼロ目標が報告されている(C.4.2)」は、どこまでを要求されているのでしょうか。具体的には、以下の条件のどこまでが要求されているのでしょうか？ -既にSBTiから認定を受けている -SBTiの検証を受けている、または、2年以内に検証を受けるとコミットしている(4.2CのLポイント要件相当) -検証を受けるつもりはないが、独自に目標を設定している -内容に関わらず、4.2で報告している | 「ネットゼロ目標が報告されている(C.4.2)」については、C.4.2でネットゼロ目標を設定していることとなります(今サイクルに関しては、C.4.2の詳細までは求められません)。 | |
| その他 | 気候変動のC11.2について、設問の意図をもう少し詳しく教えていただけますでしょうか？ | CDPIは、高品質の炭素クレジットを維持することを促進しています。詳しくは右記のクレジットの中止等にかかるテクニカルノートをご確認ください。 https://cdn.cdp.net/cdp-production/cms/guidance_docs/pdfs/000/000/471/original/CDP-Retirement-vs-cancellation-of-instruments.pdf?1643046260 | |
| その他 | 非化石証書によるオフセット量を計算し回答したい欄があるのですが、CDP回答に準拠した計算方法が記載のあるサイトがありましたら教えてください。 | (日本の温対法と異なる)オフセットクレジットによる排出量の控除はできません。但し、償却/無効化したオフセットクレジットについてはC11.2で報告が可能です。なお、エネルギー同一性原則にある再生エネルギー由来のクレジットや非化石証書はスコープ2排出削減分として算定が可能です。 算定方法は、右記のScope2テクニカルノートのリンクをご確認ください。 | https://cdn.cdp.net/cdp-production/cms/guidance_docs/pdfs/000/000/415/original/CDP-Accounting-of-Scope-2-Emissions.pdf?1490781235 |
| その他 | (前半視座できなかったので説明させていただきましたら申し訳ありません)今まで国内単体の実績で報告していたのですが、今年から海外拠点を含めた集約の回答をする場合、C5.1bのバウンダリ変更はYesとなり過去3年分の実績を入力する形ではよろしいでしょうか？ | ご理解の通りです。 | |
| その他 | お世話になります。おそれからニュースレターは配信されているかと思うのですが、今回の申込に際しまして、一度拝見したように思ったのですが、申込関係のメールが不明なようでしたので、再度お願い致します。木曜、宜しくお願いします。 | ニュースレターのお申込み方法は、ご希望とされている方については、次回より配信させていただきます。これからお申込みいただきたい場合は、CDPジャパンウェブサイトのトップページよりお申込みください。 | https://japan.cdp.net/ |
| その他 | 今回のセミナーの趣旨と違いますが、気候変動質問書のC8.2gの回答の考え方を教えてください。こちらに回答する数値の整合性はどこかの設問に紐づくものでしょうか？ | C8.2gでは、エネルギー(電力、熱、蒸気、冷熱)の消費量について個別に回答するものです。他の質問の数値との整合性は求められませんが、RE100コミットメントに除外がある場合にはそれを記載する必要があります。 | |
| その他 | また、回答バウンダリは、C8.2g以前に回答したバウンダリと同じにしないといけませんか？例えば、バウンダリを日本と米国、インドなど3カ国にした場合は、C8.2gでも3カ国分回答しないといけないということになりますでしょうか？ | 前サイクルで回答した内容との整合性については、スコアリング上は考慮されません。但し、より開示という意味では該当する国については全て記載し、RE100の除外がある場合には報告する必要があります。 | |

| | | | |
|----------|--|--|---|
| その他 | C0.5の選択肢の内容を詳しく知りたい。 | <p>三つの選択肢の定義は以下の通りとなります。</p> <p>財務管理:企業が、経済的便益を得る目的で、事業の財務および経営方針について指示する権限を持つ場合、その企業は事業を財務的に管理していると言えます。一般的に、財務連結を目的としてグループ会社または子会社化していると思われる場合、温室効果ガス算定を目的とした財務的管理を行っていると言えます。CDSBフレームワークを用いる企業はこの選択肢を選ぶ必要があります。</p> <p>業務管理:組織またはその下部組織の1つが事業方針を導入して実施する完全な権限を持っている場合、その組織はその事業を業務的に管理していると言えます。大部分の中小企業はこの選択肢を選ぶことになります。</p> <p>株式所有:株式所有方式の場合、企業はその株式の持ち分に応じて、事業の温室効果ガス排出量に責任を持つとみなされます。株式所有は、企業の経済的関心、すなわち、事業から生じるリスクと報酬に対して企業が持つ権利の範囲を反映しています。典型的には、事業における経済的リスクと報酬は貴社の事業の所有割合と整合しており、株式所有と所有割合は等しいとなります。これが当てはまらない場合、株式所有が経済的利益の割合を反映することを確実にするために、企業が株業において有する関係性の経済的実態は法的所有形式よりも常に優位になります。</p> <p>詳しくは報告ガイダンスのC0.5の部分をご確認ください。</p> | |
| その他 | 賃借による不動産では、電気使用量は賃借料や共益費に含まれている。電気事業者と直接契約しておらず使用量不明である。この場合、SCOPE2ではなく、SCOPE3リース資産上流として扱ってよいか。 | 自社が賃借しているリース資産の株業(Scope1,2外のもの)であればスコープ3上流のリース資産であり、他社に賃借している資産使用に伴う排出であれば、スコープ3下流のリース資産となります。 | |
| その他 | 事前に頂いた資料でスコープ1, 2, 3の記述欄の回答例が欲しいです。回答書を開いてから調べなおすことが発生するかもしれないので。 | 回答事務費用のベネフィットとして、他社回答閲覧機能がございます。他社の回答を回答例としてご回答頂くことをお勧めいたします。 | |
| 開示サポート資料 | | | |
| 開示サポート資料 | 今表示されている資料がCDP開示サポートサイトに掲載されているものでしたら、資料名を教えていただけますでしょうか。 | 現在発表で使用している資料は、セミナー終了後にCDP Japan > イベントページ https://japan.cdp.net/events に掲載を予定しております。 | https://japan.cdp.net/events |
| 開示サポート資料 | CDPジャパンのHPで公開されるスコアリング資料について、昨年までは各設問ごとの詳細スコアリング説明書を公開されていましたが、今年はスコアリングのイントロダクションしか見当たりません。日本語での詳細スコアリング資料は公開されますか？ | CDP Japan website > 情報開示 > 企業情報開示のページ https://japan.cdp.net/disclosure/companies-disclosure に、スコアリング基準を掲載しております。英語版が元の資料ですので、ご確認の際は英語版も併せてご参照いただけますと幸いです。 | https://japan.cdp.net/disclosure/companies-disclosure |
| 開示サポート資料 | 昨年との変更点をまとめた資料がありましたら、掲載先をご教示いただけますか。 | CDP Japan website > 情報開示 > 企業情報開示のページ https://japan.cdp.net/disclosure/companies-disclosure 中段よりやや下の位置に、各質問書の変更点、評価基準変更点の資料を掲載しております。 | https://japan.cdp.net/disclosure/companies-disclosure |
| 開示サポート資料 | 6月15日に公開された、気候変動質問書(詳細版)の資料に即したウェビナーの開催は予定されていますでしょうか | 申し訳ありませんが予定しておりません。内容に関してご質問ございましたら事務局までお問い合わせください。 | |
| 開示サポート資料 | 見落としておりましたら申し訳ありませんが、「スコアリングカテゴリとウェイト」の日本語版は公開されていますでしょうか？ | 「スコアリングカテゴリとウェイト」は英語版のみです。 | |
| 開示サポート資料 | どこかに書類が保管されており、確認不足でしたらすいませんが、Scope 3を算定するための、係数のリストはありませんでしょうか？ 例えば、20フィートコンテナを1本日本からフィリピンへ輸出する場合、コンテナあたりのCO2排出量、など。 | 排出係数については、過去に「スコープ3排出量算定の考え方について」(リンクは右記を参照)と題したウェビナーを行っておりますので、こちらをご確認ください。 | https://cdn.cdp.net/cdp-production/comfy/cms/files/000/005/094/original/Scope3_Webinar_2022.pdf |
| 開示サポート資料 | 下記資料の2023年版は発行されるのでしょうか。「CDP 2022年 企業向け気候変動質問書 回答に向けて(詳細版) ver. 2 2022年5月30日作成」 | CDP ウェブサイトの「開示サポート」に掲載されております。右記のリンクをご確認ください。 | https://japan.cdp.net/disclosure-support |
| 開示サポート資料 | 水セキュリティ質問書における国内事業所が、「水ストレス」のどの状態にあるのかを調べているが、都道府県、市町村単位での水ストレスのランクが分からない。何を調べたら、自社事業所の水ストレスのランクを確定できるのか教えて欲しい。 | 水リスクや水ストレスを考慮する際に地理的要素は重要ですが、都道府県や市町村単位ではなく、流域単位で考えることが重要です。従って、水セキュリティ質問書において水リスクを関連する質問では、国や地域をお答えいただくだけでなく、流域を特定いただけます。また水ストレスがあるかないかの判断にお使いいただけるツールとして、WRIのワータプリント、WWFのウォーターリスクフィルターなどがあり、水セキュリティ質問書内でも紹介しておりますので、まずはこれらのツールの活用をお勧めします。 | |